

第10週の発生動向 (2005/2/28~2005/3/6)

- インフルエンザについては、青森県すべての保健所管内において**警報**が出され、青森、弘前、むつ保健所管内が増加傾向にあります。
- 感染性胃腸炎については、青森保健所管内の52人、弘前保健所管内の42人と多い報告数が続いているため引き続き注意が必要です。

第10週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	740	56.92	797	49.81	862	61.57	233	33.29	534	59.33	425	70.83	3591	55.25	214
(60) 咽頭結膜熱															-2
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	2.75	35	3.18	6	0.67	1	0.20	7	1.17	1	0.25	72	1.67	-4
(62) 感染性胃腸炎	52	6.50	42	3.82	16	1.78	9	1.80	13	2.17	29	7.25	161	3.74	21
(63) 水痘	13	1.63	6	0.55	22	2.44	12	2.40	7	1.17	2	0.50	62	1.44	-3
(64) 手足口病			4	0.36	4	0.44			6	1.00	7	1.75	21	0.49	2
(65) 伝染性紅斑			4	0.36	3	0.33							7	0.16	2
(66) 突発性発しん	2	0.25	3	0.27	2	0.22			3	0.50	3	0.75	13	0.30	-7
(67) 百日咳															
(68) 風しん					1	0.11							1	0.02	-1
(69) ヘルパンギーナ	1	0.13											1	0.02	1
(70) 麻しん(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	1	0.13			5	0.56	4	0.80	6	1.00			16	0.37	5
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎					4	2.00							4	0.36	1

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
青森	13	8	5	2
弘前	16	11	5	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
合計	65	43	22	11

■ は警報です。 ■ は注意報。 「空欄」: 患者発生数0

表以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

(82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 2人 (17年計 25人)

病原体検出情報

青森保健所管内の高齢者施設において、2月17日から3月1日の間に下痢、嘔吐、発熱を主症状とした発症事例があり、患者便からノロウイルス Genogroup (G) 及び G が検出されました。

感染症の窓

水を介して発症する感染症



雪が解け春になると山に行く人も増えます。湧水や沢水は汚染されていることがあるので飲まないようにすることが必要です。感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)の中で分類されている疾病において、主なものには以下のような感染症があります。

- ・二類感染症では、水や食品などを介して経口的に感染する細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス、コレラなどがあります。
- ・三類感染症では、経口的に感染する腸管出血性大腸菌感染症があります。
- ・四類感染症では、発熱、嘔吐、腹痛を主症状とするA型肝炎、E型肝炎、環境中の水(汚染された冷却水やプール、浴槽水など)の吸入によって感染するレジオネラ症、キツネや犬などの糞に混入したエキノコックス虫卵が水などを介して経口的に感染するエキノコックス症、菌を保有したドブネズミの尿やその尿に汚染された水を介して発症するレプトスピラ症などがあります。
- ・五類感染症では、アメーバ赤痢、ジアルジア症、汚染された水道水によって感染する可能性のあるクリプトスポリジウム症などがあります。特にクリプトスポリジウム症については、発展途上国旅行後の下痢患者約75%に感染が見られています。